

発行所

公益社団法人
全日本仏教婦人連盟

〒151-0051 東京都渋谷区
千駄ヶ谷4-5-10-205
TEL 03-5772-0677
FAX 03-6434-0184
URL <http://jbwf.jp>

沙羅の樹

Saranoki

No.12

2019年秋号

10月10日発行



平成30年度総会 曹洞宗大本山總持寺にて

全日本仏教婦人連盟は昭和29年（1954）結成以来60有余年に渡り仏教の教えを糧として様々な社会福祉や文化活動を執り行っており、平成25年（2013）には公益社団法人移行の認可を

受けました。その目的「仏教精神によって組織されている各種の仏教団体と連携しながら、全ての人が国家や民族、宗教、言語、文化の違いを超えて共生し人々の尊厳が実現するよう婦人の立場から社会

仏教精神による つどいの力を信じて働く

および家庭生活に寛容精神を培い、国内外の社会福祉向上に寄与すること」を果すべく以下のページに掲載の事業に取り組んでおります。

世界では、9億人が水不足にくるしみ、衛生的な水が得られないことが原因で、毎日4000人の子供たちが命を落としていくそうです。水は、命の根源です、仏教婦人連盟はこの問題には特に寄与していきたく思っております。

しかし環境問題やSDGs（持続可能な開発目標）などのような場所への支援も必要不可欠なことです。人間個々が慈愛の心を持つことが根底になればなりません。仏教婦人連盟の信条に、

一、私たちは仏の光のなかに生きます。
一、私たちは真実をみつめて歩みましょう。
一、私たちはつどいの力を信じて働きましょう。

とあるように、仏教精神ののびのびとした奉仕の和を広げて



いきたいと思います。

昨今の世情に目を向けますと数々の天災や慈愛に乏しい殺伐とした事件が多発しております。このような時代にこそ仏教の教えが心の支えにならなければと痛感いたしております。

会員の皆様はもとより関係各位におかれましてはご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私たちの 活動報告

各事業にご賛助及び
ご協力をいただき、
ありがとうございます。

7月1日～9月25日（順不同・敬称略）

▼新入会会員

原秀子 武田京子 長谷川睦子 多賀礼子

▼賛助金にご協力の方々

真言宗智山派 日蓮宗 総本山西教寺
大本山中山寺 大本山高尾山薬王院
日光山輪王寺 法隆寺 真如苑
天王寺 泰書會

▼社会福祉基金

鷹司誓玉 山田麻記子 永崎亮安
高橋厚子 安井豊子 川名庸子
河原時子 佐々木公子 大橋百合子
花岡真理子 海老塚るり子 安部勢津子
富田記代 小峰みな子 本多端子
福岡県仏教連合会女性の会 長尾節子
米田陽子 鈴木恵子

▼写経にご協力の方々

【宝光院扱い】

柝澤元子 猪瀬三枝子 田中美恵子
浜野富貴子 平野多摩子 大橋百合子

【事務局扱い】

村上和之 東伏見慈晃 東伏見具子
谷フサエ 安部勢津子 吉田視知恵
佐々木公子 末廣久美 横山俊子
日吉観 林房江 篠田千津香
山口偉理子 小峰みな子 長尾節子
念法真教 安井豊子 平林宣子
山田麻記子 上原桂子 本多端子
海老名初江

▼特別指定寄付

祐天寺

▼里親運動にご協力の方々

上原桂子 本多昭子
福岡県仏教連合会女性の会

▼あおぞら奨学基金にご協力の方々

阿部孝子 上原桂子
福岡県仏教連合会女性の会

▼花の種運動にご協力の方々

阿部孝子

▼タオル運動にご協力の方々

村田寛子 海老名初江

7月 10日 「全佛婦」129号発行

8月 4日 比叡山宗教サミット32周年「世界平和の祈りの集い」
（比叡山延暦寺）

14日 第54回戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典
（九段・千鳥ヶ淵墓苑）

27日 第174回宗教法人審議会（虎ノ門・文化庁）

9月 2日 （公財）全日本仏教会情報共有会（京都・西本願寺聞法会館）

4日 故惠光院日慈上人本葬儀（池上本門寺本殿）

全日本仏教青年会理事長就任祝賀会

（リーガロイヤルホテル京都）

（公財）全日本仏教会第7回社会・人権審議会（明照会館）

（公財）全日本仏教会総務財政審議会（明照会館）

11日 第4回運営委員会（天王寺）

第117回文化講座（天王寺）

☑ 11月1日（金）
12時半～

第61回静岡県仏教婦人会
沼津大会
会場：沼津市民文化センター

☑ 11月12日（火）
10時 仙台駅集合

第118回文化講座
会場：宮城県石巻小竹浜
「万華鏡作り」

☑ 11月14日（木）
18時半～

第19回仏教音楽祭
「能・狂言と仏教の夕べ」
会場：セルリアンタワー能楽堂（渋谷）
主催：（公財）仏教伝道教会

☑ 12月12日（木）
13時～

第31回成道会の集い
会場：有楽町朝日ホール
主催：東京都仏教連合会

☎ 問合せは当連盟事務局まで ☎ 03-5772-0677

◆ 福祉災害募金

平成7年1月17日の阪神淡路大震災からすでに24年が過ぎ、その後、国内外では地震と水害等が多発しています。近年では、東日本大震災、長野県神城断層地震、ネパール地震、広島水害、熊本地震、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震と毎年災害が生じています。私たちは、その度、義援金のお願いをして支援を続けております。なお、大会等で呼びかけている「**心の募金**」も、支援の一部になっております。昨年、支援しました真備町かなりや幼稚園からはがきが届きました。

阪神淡路大震災後の被災者支援「まけないぞう」も、引き続きよろしくお願いいたします。



文化講座

平成16年より様々な分野で活躍されている講師の先生をお迎えし、年8回開講し28年に100回を迎え、2年前から年4回になりました。



あおぞら奨学基金

平成23年3月11日の東日本大震災で被災し、学業困難な子どもたちへの給付型「あおぞら奨学基金」を（公財）全青協と共に立ち上げ、東北の高校生を応援しています。

1か月1万円の支援金で1名の奨学生を、連盟では6名の奨学生を卒業まで支援します。

これまでに17名の生徒を支援いたしました。今年度からの奨学金を希望した2名の新しい生徒をご紹介します。



♣ 男子 高校2年生

母子家庭で、母が家計を支えてきました。しかし母は手術後仕事ができない状態です。双子の兄とともに同じ学校に通ってバスケットボール部に所属し部活動の経費もかなり掛かります。休みにはアルバイトをしているが、経済的に大変です。

♥ 女子 高校1年生

9人兄弟の2ばん目、兄弟が多いため生活費、教育費が家計の多くを占めている。

将来の夢は、農業を勉強し海外に行き生活に苦しみ人たちと一緒に農作物の作り方を教えながら生活すること。そのためには、まず高校を卒業することですが、これから妹、弟たちも進学を控えている中、少しでも家計の負担を減らしたい。

里親運動

インドにおいては、子供たちは1か月3000円で教育が受けられ生活することができます。連盟では平成13年より年間（3万6千円）10名の里子の支援をしています。

インドのベナレス、ラダックの子供たちからのカードが届いております！



写経運動

インド・ブッダガヤの日本寺境内に当会が設立した光明施療院は貧困と病の両面に苦しんでいる人々を無料で診療してまいりました。現在ではその使命を移行し、無料の幼稚園「菩提樹学園」の園児と母親の母子衛生教育にその機能を変える方向で企画しています。

なお、写経は宝篋印塔に納経し、その奉納金は上記事業の資金となります。

全佛婦129号の送付とともに写経のお願いをしましたところ多数の写経が届きました。引き続き、よろしくお願いいたします。



仏婦の事業

「全佛婦」及び「沙羅の樹」でご報告しております当連盟の継続事業を改めてここにご案内いたします。

それぞれの形でご協力お願いいたします。
➡ 事業に関してのお問合せは当連盟事務局まで
☎ 03-5772-0677

花の種運動

人の心に、地上に花を咲かせ花々と心を通わせ、思いやりの心を育んでほしいという願いを込めて「花の種」を平成16年より毎年3月のお彼岸から4月の花まつり行事に配布してまいりました。（毎年5万袋）

花が咲きましたと写真が届きました。



朝霞念法寺の塀を囲むひまわり

